

病気に負けず頑張ろう！

千葉県支部長 横田 仁 (生産機械工学科・1973卒)

新型コロナ禍が始まって早2年以上が過ぎました。コロナウイルスは人への感染を繰り返すうちにアルファ、デルタ、オミクロン株に変化しながら、まだまだ収まる気配がありません。入院患者も急増し、コロナ以外の入院や手術にも影響するようになってしまいました。

皆様はいかがお過ごしですか？私はこの度、残念ながら膀胱癌に罹患してしまいました。癌は怖い病気だと思ひ少し調べたことを書き記したいと思います。

国立がん研究センターの統計によると、2019年に癌で死亡した人は376,425人で2009～2011年にがんと診断された人の5年相対生存率は64.1%だそうです。また、日本人が一生のうちに癌と診断される確率は男性65.0%、女性50.2%となっていて、実に2人に1人が癌に侵されているとのこと。また、日本人が癌で死亡する確率は男性26.7%、女性17.8%だそうです。癌罹患患者数と死亡者数の多い順位と主な癌の進行度別10年生存率を別表に添付します。

私が罹患した膀胱癌について少し話をしたいと思います。2021年7月にこげ茶色の尿を排出しましたが、その時は熱中症のサインかなと思ひ、あまり気にしませんでした。8月の健康診断で血尿がみられたため3か月後に再検査となりました。11月の再検査でも血尿が確認されたため主治医(内科)と相談し、主治医から紹介された泌尿器科クリニックを受診、12月24日内視鏡検査となるが、12月に入ると

赤い血尿が頻繁に出るようになりました。内視鏡で膀胱内を観察すると赤と白色のまだらになった風船状の癌が1か所と風船が破裂した状態の癌が2か所確認できました。その後、大学病院を紹介され、今年2月1日に手術をしました。

手術では下半身麻酔として脊髄くも膜下麻酔と神経伝達麻酔を併用し、手術方法は経尿道的膀胱腫瘍切除術で行われました。この手術は尿道から挿入した内視鏡を用いて、ループ状の電気メスで腫瘍を切り取る方法です。切り取った腫瘍部分は生理食塩水で流出しながらの作業となります。腫瘍は大小合わせて8か所確認でき、切除したら粘膜上皮下結合組織に浸潤状態のpT1でステージ1の状態でした。pT1とは腫瘍の取り残し、筋層に浸潤していないかの再検査入院が必要です。別表によると10年生存率は81.9%になりますが他の資料では94%の生存率と記されているものもあります。このように、癌でも早期発見で生存率は向上します。

皆様も健康には十分注意し、健康診断を定期的に行い、病気を早期に発見して長生きしましょう。また今年の11月にはコロナ禍で伸び伸びになっていた校友会全国大会が十分に開催されそうです。皆で、元気に参加しましょう。

癌の種類・進行度別 10年生存率(%)
(2008年がん診断されたデータ)

癌の種類	ステージ1	ステージ2	ステージ3	ステージ4	全体
前立腺癌	100	100	100	44.7	98.7
女性の乳癌	99.1	90.4	68.3	16.0	87.5
大腸癌	93.6	83.9	69.4	11.6	67.2
胃癌	90.9	59.3	34.6	6.9	66.0
膀胱癌	81.9	59.3	43.9	11.9	65.1
肝細胞癌	33.4	18.9	9.2	2.2	21.8
小細胞肺癌	35.7	18.9	11.6	1.8	9.1
膵臓癌	35.4	13.0	4.1	0.8	6.5

癌罹患数の順位(2018年)

	1位	2位	3位	4位	5位
総数	大腸	胃	肺	乳房	前立腺
男性	前立腺	胃	大腸	肺	肝臓
女性	乳房	大腸	肺	胃	子宮

癌死亡者数の順位(2019年)

	1位	2位	3位	4位	5位
総数	肺	大腸	胃	膵臓	肝臓
男性	肺	胃	大腸	膵臓	肝臓
女性	大腸	肺	膵臓	胃	乳房

第67回千葉県支部 報告会兼意見交換会と 懇親会開催ご案内

日時: 令和4年6月～8月の土曜日 14:00開会
会場: 船橋市勤労市民センター (予定) 船橋市本町4-19-6
☎ 047-425-2551 HP <http://funabashi-ksc.or.jp>
交通: JR船橋駅 南口徒歩5分 京成船橋駅 東口徒歩3分
会費: 5,000円(懇親会費として) 懇親会会場: 未定

◎当日のスケジュール 1. 報告会兼意見交換会 14:00～16:00 2. 懇親会 16:30～18:30

新型コロナウイルス感染症の終息時期が不透明なため、現段階(4/30時点)で開催日を特定できません。詳細が決定し次第、校友会のホームページに掲載しますのでご確認ください。

校友会HP⇒支部活動⇒支部掲示板⇒千葉県支部からご覧になれます。

尚、年会費を同封の払込取扱票にてご送金くださる際、通信欄にメールアドレスをご記載いただければ、そちらに支部報告会兼意見交換会のみならず、各種行事の案内状を配信させていただきます。

千葉県支部報告

1. 支部報告（新海 昌美）

支部報告は「第66回千葉県支部報告会兼意見交換会」について記載するところですが、令和3年度も一昨年度同様、新型コロナウイルス感染症防止対策のため、中止になりました。

また、例年千葉県支部が行っている近隣支部行事への参加、「芋掘り&BBQ大会」なども中止になりました。

また、困窮する多くの在校生支援のため、千葉県支部からは昨年同様50,000円の支援を行いました。この原資は、予定していた各行事がコロナ禍で実施できなかった未実施予算を充てました。

今年こそ、新型コロナウイルス感染症が収まり、以前のような行事が行えることを祈っています。

2. 全国支部長会の報告（横田 仁）

全国支部長会は今まで年1回開催していましたがコロナ禍の2021年度はリモートで2回開催されました。

1回目は2021年5月29日13時30分から15時00分まで開催されました。

議題は

1. 校友会田野邊会長、工学院大学伊藤学長の挨拶
2. 新支部長の紹介
3. 第19回校友会全国大会・大分大会、第20回・高知大会（2023年予定）の紹介
4. 校友会全国ブロック化の検討
5. 各支部のホームページの活用について
6. 各支部イベントの紹介
7. 学校法人工学院大学後藤理事長の挨拶

・新支部長は西東京支部・内野正幸様、茨城県支部・石川啓司様、静岡県支部・森田達志様、長野県支部・金井浩三様、山口県支部・甲斐直幸様、佐賀県支部・榎和敏様、大分県支部・前田博行様

・第19回校友会全国大会・大分大会はコロナ禍で延期になりました。

・全国ブロック化については東北北海道、関東、中部、関西、中国、九州の7ブロックに分け、支部未設置県の会員の隣接支部への参加と承諾依頼の提案がありました。

・ホームページを各支部が積極的に活用できる体制を

作る。

・各支部のイベント紹介では千葉県支部の芋ほり大会&バーベキュー大会を中心にアーチェリー体験会、居合抜き研修会などの行事を紹介しました。湘南支部は地引網大会の様子が紹介されました。

2回目は2022年2月27日13時30分から15時30分まで51人参加で開催されました。

議題は

1. 新春の挨拶（校友会田野邊会長、後藤理事長、伊藤学長）
2. 宿題の回答（役員の定年制、ブロック化）
3. 学生プロジェクトの結果と予定
4. 全国大会開催について
5. 代議員選挙の改定について
6. 新支部ホームページ紹介と説明
7. ネット会議の紹介
8. 支部活動紹介

・支部役員の定年制の変更については就任時年齢を77歳未満とする。尚、就任時年齢の起算日は6月30日とし、理事・監事、同窓会長・役員、支部長・役員が対象となる見込み。

・学生プロジェクトはKRP（工学院大学ロボットPJ）2021年7月9日実施、学生フォーミュラーPJは2021年7月12日実施、鳥人間PJは2021年7月31日～8月1日実施、ソーラーカーPJは2021年10月1日～2日実施。

・校友会全国大会・大分大会は2022年11月12日～13日に開催、高知大会は2024年11月9日～10日に開催決定しました。

・代議員選挙は今まで4年に1度だったのを2年に1度に変更したいと本部から提案がありました。2023年代議員選挙は12月公告、1月立候補、1月公開、1月から2月に投票、結果発表を2月にする予定。

・各支部新規HP紹介と利用方法の説明がありました。

・支部報告会や支部会議のネット会議について説明がありました。

・支部活動報告では相模支部がボーリング大会、支部会でビデオ放映や懇親会、JAXA宇宙科学研究所見学会、ゴルフ大会の紹介があり、西東京支部は西東京支部記念誌の発行、高尾山薬王院への必勝祈願、支部総

会の紹介が有り、長野支部は長野デザインウイークが城山公園で開催されたことの報告がありました。

3. 校友会社員総会の報告（植木 幸裕）

令和3年度の定時社員総会は2021年5月30日（日）、Zoomを利用したオンライン開催となった。新型コロナウイルス感染拡大がなかなか終息を見ない中、令和2年度は時期をずらし、書面による総会となったが、令和3年度は、校友会初のオンラインで従来と同じ時期に開催した。来賓として後藤治理事長と4月に学長に就任されたばかりの伊藤慎一郎学長にもオンラインでご参加いただき、ご挨拶を頂戴した。主催者側の本部も、出席した代議員にとっても初の試みで、不慣れな点もあり、採決に少々手間取ったりした点もあったが、大きなトラブルも無く、無事に終了した。

代議員数117名中、総会出席者数は96名、欠席者21名で、出席者数が過半数（59名）を超えているので社員総会は成立した。

【審議事項 第1号議案】 次期理事・監事選任の件

2021年2月9日に投票が締め切られた理事・監事選挙で当選した補欠者2名を含む13名の理事及び、補欠者1名を含む3名の監事が賛成多数で承認された。

任期は本日の社員総会終了後から2023年5月28日の社員総会終了まで。

千葉県支部からは、植木幸裕氏が理事に、新海昌美氏が監事に選出された。

【審議事項 第2号議案】 令和2年度事業報告と決算書承認の件

令和2年度の事業報告が島林総務部長から、決算報告が佐藤財務部長から、続いて、適正に処理されている旨の監査報告が楠監事から行われ、賛成多数で承認された。

【報告事項 第1号報告】 次期会長・副会長の選任及び、各部長・副部長の委嘱報告

校友会次期会長に田野邊幸裕氏（1969年建築学科卒）が選出され、副会長に小澤和重氏（1973年電気工学科卒）が指名されたことが報告された。

また、総務、財務、広報、同窓会組織、支部組織、学園連携各部の部長、副部長が会長より委嘱された旨、報告された。

【報告事項 第2号報告】 令和3年度事業計画及び予算報告

令和3年度はコロナ禍が終息することを前提とした事業計画及び予算報告が行われた。

【報告事項 第3号報告】 同窓会会長交代の報告及び支部長交代の報告

建築系同窓会長、附属高校同窓会長と佐賀県、大分県、長野県、山口県、西東京、静岡県、茨城県の7支部長交代の報告が報告された。

【報告事項 第4号報告】 全国大会・大分大会及び次期全国大会・高知大会開催の報告

コロナ禍で1年延期となっている大分大会が、更に1年延期となったことの報告と、その次の開催地である高知大会についての説明がなされた。

【報告事項 第5号報告】 新型コロナウイルス対策学生・生徒支援募金の状況報告

2020年度に一応の目安としていた1,500万円を超える募金が集まったとの報告があった。

【報告事項 第6号報告】 会員表彰者の報告

コロナ禍で、2020年度の表彰式が中止となった為、2021年度分と合わせて報告された。

2019年春の叙勲

旭日中綬章 中島 淳様 1969年機械工学科卒業、
2002年電気電子工学博士課程修了

2019年秋の叙勲

瑞宝中綬章 長嶋 秀世様 1964年電気工学科卒業、
1966年電気工学専攻修了

黄綬褒章 西村 武様 1962年建築学科卒業

旭日小綬章 猪狩 正明様 1969年電子工学科卒業

2020年春の叙勲

瑞宝中綬章 鳥羽 栄治様 1964年電気工学科卒業、
1966年電気工学専攻修了

瑞宝小綬章 多田 舜保様 1964年工業化学科卒業

瑞宝単光章 松田 健一様 1978年建築学科卒業、
1979年専攻科修了

続いて、校友会表彰規則に基づいて連続3期以上の理事経験者1名と、支部長経験6年以上の方5名に感謝状が贈られた。

退任理事 鄭 雄飛様 理事／副会長、財務部副部長

茨城県支部 南 弘様 1969年卒 在任期間 6年9ヶ月

西東京支部 小林 保男様 1963年卒 在任期間 8年1ヶ月

山口県支部 重村 修二様 1968年卒 在任期間 8年

高知県支部 森 薫様 1978年卒 在任期間 6年10ヶ月

大分県支部 渡邊 光治様 1968年卒 在任期間 7年4ヶ月

令和3年度会計報告及び令和4年度予算（案）

会計年度期間：4月1日より翌年の3月31日迄

収入の部

科 目	3年度収支予算	3年度収支決算	4年度収支予算案
前年度繰越金	539,719	539,719	551,203
年会費	180,000	114,000	165,000
報告会兼意見交換会会費	100,000	0	125,000
新年会会費	150,000	0	150,000
忘年会会費	28,000	0	28,000
支部行事開催参加費	106,000	0	102,000
役員及び各種会費	0	0	0
支部割戻金	88,000	90,000	90,000
祝儀	0	0	0
寄付金	86,000	55,000	60,000
雑収入	9,500	251	9,500
受取利息	0	0	0
合計	1,287,219	798,970	1,280,703

支出の部

科 目	3年度収支予算	3年度収支決算	4年度収支予算案
報告会兼意見交換会会費	130,000	0	130,000
忘新年会費	178,000	0	178,000
支部行事費(芋掘り&BBQ大会)	105,000	0	120,000
役員会費(会場使用料等)	5,000	0	5,000
広告・渉外費	30,000	0	30,000
他支部参加費	10,000	0	15,000
地区懇談会補助費	0	0	0
同好会補助費	0	0	0
会報作成費	92,400	92,400	132,000
通信費(案内状)	95,000	72,367	90,000
交通費	8,000	0	12,000
文具費	34,100	33,000	5,000
寄付金	50,000	50,000	0
予備費	10,000	0	12,500
小計	747,500	247,767	729,500
次期繰越金	539,719	551,203	551,203
合計	1,287,219	798,970	1,280,703

財産目録

令和4年（西暦2022年）3月31日現在

預貯金	ゆうちょ銀行普通預金	551,203
	ゆうちょ銀行振替口座	0
現金		0
資産合計		551,203

会計監査報告書

令和3年度（令和3年4月1日より令和4年3月31日迄）の収支決算書及び令和4年3月31日現在の財産目録につき関係書類等により監査したところ適正であるものと認める。

令和4年4月4日

会計監査 成田 忠志

令和3年度事業活動報告(概要)

- 4月 25日(日) 令和2年度会計監査
- 5月 22日(土) 千葉県支部会報25号発行
- 5月 29日(土) 全国支部長会（オンラインにて開催）
- 5月 30日(日) 校友会社員総会（オンラインにて開催）
- 11月 30日(火) 市原市のチバニアン見学会
- 2月 27日(日) 全国支部長会（オンラインにて開催）

その他以下の催しはすべて中止または延期

- ・千葉県支部報告会兼意見交換会 令和3年8～9月の土曜日開催中止
- ・千葉県支部ゴルフコンペ 秋ごろ中止
- ・芋ほり&BBQ大会 10月中旬中止
- ・校友会全国大会・大分大会 11月6日、7日延期
- ・アーチェリー体験会&懇親会 11月下旬中止
- ・居合抜き体験会&忘年会 12月上旬中止
- ・校友会2022新春の集い 2022年1月10日中止
- ・千葉県支部新年会&幹事会 2022年1月29日中止

令和4年度事業計画(案)

令和4年になっても未だコロナウイルスの猛威が収まらず、令和4年度も昨年度と同様に見通しが非常に不透明です。その為、事業計画を例年通りに決められません。主な行事は下記の時期に様子を見ながら実施したいと思います。

- ・千葉県支部報告会兼意見交換会と懇親会：6月～9月の土曜日開催予定
- ・千葉県支部ゴルフコンペ：秋ごろ
- ・芋ほり&BBQ大会：10月中旬
- ・校友会全国大会・大分大会：11月12日、13日
- ・アーチェリー体験会&懇親会：11月下旬
- ・居合抜き体験会&忘年会：12月上旬
- ・校友会2023新春の集い：2023年1月8日(日)
- ・千葉県支部新年会&幹事会：2023年1月28日(土)

“チバニアン”って何だ？



(電気工学科・1971卒) 長谷川 努

千葉県支部の有志4名でチバニアン（ラテン語で千葉時代の意味）期の地層が見られる場所を見学してきました。そこは、千葉県のJR内房線姉ヶ崎駅から車で1時間ほど走った、市原市田淵地区を流れる養老川沿いの川辺の崖で、説明されなければ何の変哲もない崖でした。

この場所は、次のようなことがあって出来上がりました。大昔、木曾の御嶽山が大噴火し、その火山灰が長い時間をかけて雨に流され、養老川に堆積し粘土層になったところです。何層にもなっている地層のある部分ができた時期を、チバニアン期と命名したわけです。

チバニアン期とは、ジュラ紀とか白亜紀と同じようにある年代を示す名称で、具体的には約77万4千年前から約12万9千年前までの約65万年間の時代を呼びます。国際地質科学連合より、2020年1月17日に命名されました。この時代は私たち人類の祖先である、ホモ・サピエンスがアフリカで誕生した時代でもあります。

市原市田淵地区を流れる養老川沿いは「千葉セクション」と呼ばれるエリアで、チバニアン期とその前の時代のカラブリアン期が白い境界層で分けられていて、はっきりと見るができます。白い境界層は、大昔木曾の御嶽山が大噴火し、その火山灰が堆積してできたそうです。

それでは、なぜチバニアン期が有名になったのか？その説明をしましょう。唐突ですが、地球は大きな磁石のようなもので、現在は北極がS極、南極がN極になっていますが、驚くことに、実は何度も逆転しているのです。過去360万年の間に11回も逆転しています。おおむね数万～数十万年ごとに逆転しているそうです。最後の地磁気逆転が、チバニアン期が始まる約77万4千年前なのです。「千

葉セクション」は地磁気が逆転した証拠が、世界で最もよく残っている場所だったのです。こんなことは全く知りませんでした。

地球のS極とN極が逆転する原因は諸説ありますが、一説には地球内部の液体状態になっている外核が動いて、S-N極が逆転したという説です。別の説では、地磁気の逆転はS極とN極が逆転したのではなく、地球の地表部が移動したというのです。即ち大陸が移動して地球の天地がひっくり返ったという説です。（どちらも理解できないですね！）

どうして地磁気が逆転したということが分かったのでしょうか。それは、粘土層に含まれている磁鉄鉱石のN-S極の向きが真中の層を境に逆の方向を向いて堆積していることが発見されたからです。さらに、「千葉セクション」の研究観察から、約2,000年かけてS極とN極が逆転した事が判明したのです。

以上、ガイドさんから説明を聞いて、理解した事を纏めてみました。すごいということは理解できたのですが、極が逆転したらどんなことが起こるのか？電気は発電されるのか？電車は動くのか？飛行機、人工衛星は？家に帰ってアルコールが入ったら、頭の中がぐるぐる回って「逆転」してしまいました。



左より、新海副支部長、古澤幹事、筆者、植木会計

高齢者川柳

早起きし

用もないので

朝寝する

チバニアンへ行ってみた。



(電気工学科・1970卒) 新海 昌美

新型コロナウイルスも一時下火になった2021年11月30日、千葉県支部では市原市にあるチバニアン見学を計画しました。お声がけしたのは役員の方々でした。計画した日が平日であったので、現役で仕事をもっている方の参加は難しい事もあり、また、コロナ禍であり、辞退する方がいました。結果、参加者は植木幸裕、長谷川努、古澤良夫、そして私の4名でした。当日はJR内房線姉ヶ崎駅に集合し、私の車で約1時間のドライブ、途中で昼食をとり、予定時刻より、少々早く「チバニアン」がある市原市田淵地区の「チバニアンビジターセンター」に到着しました。

「チバニアンビジターセンター」は現地を見学するだけでは難しい地磁気逆転地層を正しく理解し、地層の意義や魅力を知っていただくために設置されました。

色々な標本の展示、地層の解説などがありました。

「チバニアン」については、茨城大学岡田教授が千葉市内などで、講演を開催していますので聴講された方もいると思いますが、あえて「チバニアン」について、説明します。

「チバニアン」は地質年代名称で、国内地名に由来する日本初の名称です。そして、ここ田淵地区の地磁気逆転地層を含む地層「千葉セクション」が数々の選

考審査をクリアし、地球上で74か所目のGSSPとして、認定されました。GSSP (Global boundary Stratotype Section and Point) は「国際境界模式層断面とポイント」の略です。

「チバニアン」は、地質年代区分で77万4千年前から12万9千年前です。ここ田淵地区では更新世中期の「チバニアン」とその前の更新世前期「カラブリアン」の境界をみることができます。

「チバニアン」と名付けられた時代は直立歩行し、道具を使えるヒトの祖先がアフリカからユーラシア大陸に移動し、年代後半はホモ・サピエンスが出現した年代です。

さて、「チバニアン」といえば「地磁気逆転」ですが、地磁気とは??

地球が持つ固有の磁場を地磁気と呼びます。現在は北極がS極、南極がN極の性質を持っています。そのことは、方位磁石を使って方位を知ることができます。しかし、過去には現在の方位磁石とは逆だった時期もあります。つまり、北極がN極、南極がS極を示す時期もありました。将来も、方位磁石が現在と逆になるかもしれません。つまり、地磁気逆転が起きるかもしれません。

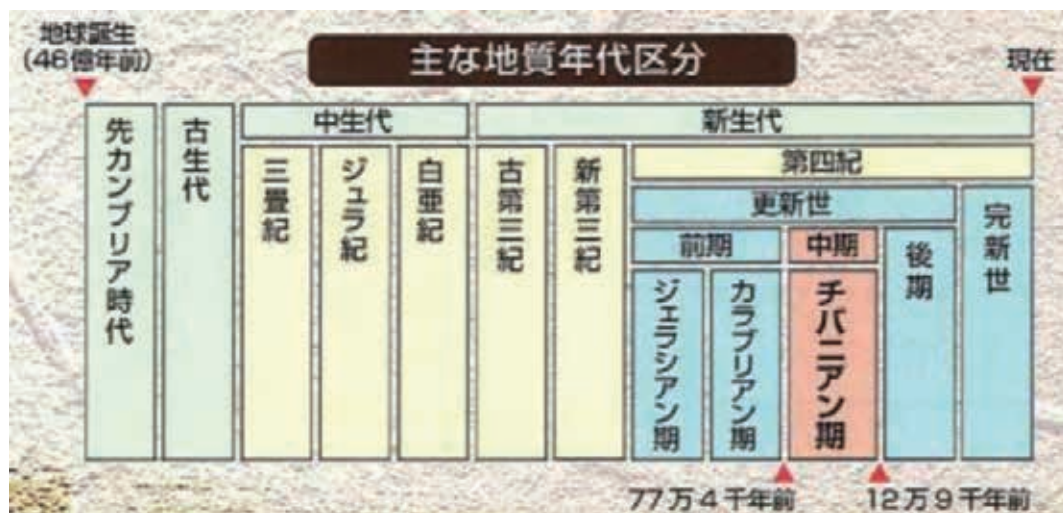


図1 地質年代区分 (77万4千年前から12万9千年前がチバニアンと命名された)

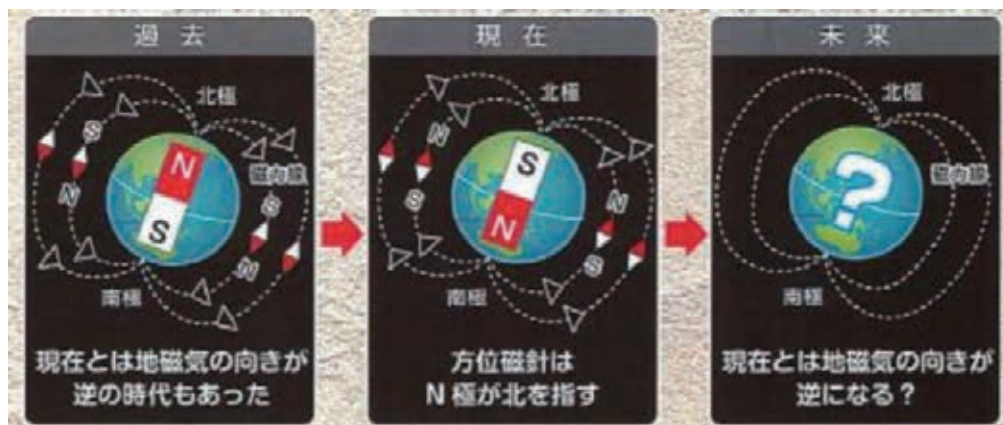


図2 地磁気逆転のイメージ

この地磁気逆転は過去360万年間だけでも十数回確認されています。それ以前でも頻繁に地磁気逆転が起きていたようです。「チバニアン」の地磁気逆転には2万年かかったと言われています。

大昔の地磁気は地層の中の磁性鉱物に記録されています。つまり、その時代の磁力線（N極からでて、S極におさまる）の方向に磁化されています。これは特殊な装置で測定することが可能です。

地磁気が逆転するとはこの磁力線が北極から出て、南極に収まる（過去）。

これが逆転して磁力線が南極から出て、北極に収まる（現在）ということです。「千葉セクション」では、この磁化されている地層が市原市田淵地区の養老川地層でみることができます。

77万年前の地層から下は「カラブリアン期」の地層です。その上が「チバニアン期」の地層になります。この地層の赤い杭があるところが逆磁極帯、黄色の杭の部分で過渡期、緑の杭の部分で現在の正磁極を示しています。

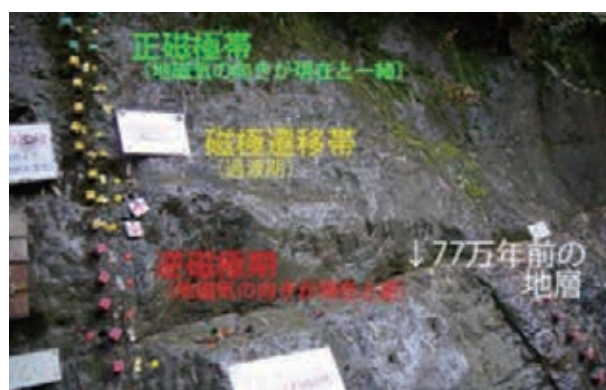


図3 養老川で見られる地層

では、このような地層がどのようにして、出来上がったのか？

約300万年～40万年前、我々の住んでいる房総半島は太平洋の海底、水深800m～1,000mにありました。深い海底では堆積物がきれいに積み重なります。それは千葉県中央部で発見された貝などの化石により深海の環境にあったことがわかります。また、日本列島は地殻変動が激しい変動帯に属し、海底で堆積した地層は大地が隆起し、地上に現れました。こうして地上に現れた地層は市内を南北に流れる養老川によって浸食され、現れたのが「千葉セクション」でした。この田淵地区の地磁気逆転地層には「白尾（びやくび）火山灰層」が見られ、これは約77万年前に古期御嶽火山（長野県と岐阜県の県境）が噴火した時の火山灰が降り積もった層です。田淵地区の地層にはこの火山灰がみられ、地磁気逆転が約77万年前であることが分かったのです。

皆さん！ 少しは「チバニアン」に興味をもたれましたか？千葉県民として、新型コロナウイルス感染症が終息したら一度は訪れてみたいいかがでしょうか？

行く時は「チバニアンビジターセンター」（TEL/FAX 0436-96-2755）に連絡し、ガイドさんを依頼することをお勧めします。現地へ行くだけでは養老川流域を見学するだけになると思います。

現在、現地では見学ルートなどを整備しています。ちなみにガイド料金は1～15名で1,500円です。

参考資料

中学生版 「チバニアンの秘密」(現地で配布された小雑誌)
養老川流域田淵の地磁気逆転地層(現地で配布されたパンフレット)
地球を楽しむ チバニアンの地層(現地で配布されたパンフレット)
WEB 市原市ホームページ「チバニアン誕生」

馬で世界を観て廻る



(化学工学科・1969卒) 岩本 博行

居合道の寄稿にも少し書かせていただきましたが、我々の子供の頃の娯楽といえば映画。東映時代劇の剣士にあこがれて居合を始めましたが、もう一つ夢見ていたものがありました。それは、悪漢に囚われた姫を助けに行く怪傑黒頭巾が、白馬に跨る姿です。

小学生のころ、かなり遠くの乗馬クラブへ馬を見に行った記憶があります。40歳を過ぎて、お金と時間に少々余裕ができた頃、乗馬クラブの宣伝が目飛び込んできました。そして、体験乗馬からそのまま入会してしまいました。中学、高校の体操部で、バランス感覚、空中感覚を鍛えていたのが功を奏したのでしょう。うまく馬を操り、クラブ内の障害飛越競技会で何度も優勝をかさらいました。人馬一体で障害を飛び越えるというのは、確かに気持ち良いのですが、最終の目標は大地を馬でぶっ飛ばすことでした。国内では北海道から九州まで、外乗（そとのり）をさせてくれる乗馬クラブを探しては、乗り廻りました。しかし、国内に飽き足らず、モンゴルを手始めに海外乗馬に嵌っていきました。日本とはスケールの大きさが違い、さらに乗馬文化が異なっていました。

欧州などでは、街中で馬列が通れば、車はスピードを落とします。カフェの前には馬を繋ぐ杭があります。

郊外のホテルには、駐車場ならぬ駐馬場があります。

一方、キャンプを張って大草原や砂漠を渡り歩くツアーが、やはり強く印象に残っています。その中で、人間の生物としての存在を強く認識させられたのは、ペルーの砂漠ツアーでした。

南米ペルーの首都リマから、国内航空で標高2325mの世界文化遺産の街Arequipaへ移動します。さらに車で約2時間移動し、そこからアンデス山脈の砂漠地帯への馬の旅が始まりました。飛行機から見えた白い大地は、雪かと思っていましたら、なんと永年降り積もった火山灰でした。馬で歩くと前後が見えないほど細かい灰が舞い上がります。マスクをして、さらにスカーフで覆面をして、ひたすら歩き続けました。周りに目標となる建物は勿論、草木もまったくありません。見渡す限り真っ白な世界です。ガイドはGPSを使って進路を確認していました。雪は夏になれば消えるけど、灰は永遠に消えません、と言う現地の人の言葉が印象的でした。

その様な大地でキャンプを張り、三日かけて太平洋を目指します。当然、風呂もトイレ也没有。原住民のスタッフが、四駆車で先回りして設営してくれたキャンプに到着すると、洗面器一杯の水だけで顔を洗い、汗をぬぐいます。夕食時には原住民の踊りの披露がありました。もちろん、小生は棒切れを持って日本の武道、居合を披露しました。(^ O ^) /

三日目です。馬も嫌がるような断崖を下っていきます。やがて潮の香りがしてきて、海が近いのが分かりました。そして、砂地になった足元にハイマツが生えていました。「あっ、生き物だ！」思わずそう叫びました。たった三日間、無生物の中で過ごただけで、人はこんなにも緑が恋しくなるものなのかと、その時しみじみ思い知らされました。

将来、人類は月や火星に居住するよう



国旗で歓迎のキャンプ地（ペルー国）

なことが言われていますが、水脈を当て、植林に成功すれば別ですが、緑の無い世界では決して生活を永続させることはできないだろうと思われました。

ハイマツを踏まぬよう馬を丁寧に操り、やがて小さなビーチに到着しました。ここで面白い出来事がありました。静かに打ち寄せる波ですが、波頭は白く泡立っていました。馬は臆病な動物で、特に微妙に動くものに敏感に反応します。このツアーに馬を提供してくれた地元の二人の乗り手は、馬のスペシャリストのはずですが、二人が波打際に馬を寄せたとたん馬が飛び上がり、二人とも振り落とされてしまいました。初めて見る白い波頭に馬が驚いたのです。もう一人、米国在住の日本人のツアーコンダクターも振り落とされそうになりました。しかし、持っていたカメラを濡らすまいと高く掲げたおかげで、何とか落馬は免れました。その後、小生一人だけが海の中に入ることができました。どうしたのでしょうか？

三人の様子を見て、波が引いた時に後ろ向きに馬を海に入れたのです。波が寄せてきても、疲れた脚に冷

たい海水が気持ちいいのか、馬はじっとしていました。大成功です。馬は一度馴致させれば、後は従います。感心してみている三人を尻目に、一人波打ち際を気持ちよく疾走させてもらいました。

ビーチサイドの宿は日本の海の家を少し良くした程度の建物でしたが、ベッド、シャワー、トイレがあるので、昨日までのテント生活に比べれば極楽でした。翌朝、海岸を千鳥が歩いていました。「動く動物だ！」これまた感動です。小さな可憐な生命をなんとも愛おしく思ったものです。

日本に住んでいれば当たり前の景色。緑、小鳥の舞い、豊かなきれいな水。これらがいかに恵まれた環境であるのか、海外に行くと実感します。特に、馬でしか行けないような辺鄙な地に行くと、しみじみ思われます。日本の若者達に、このような経験を大いにしてもらいたいものです。

今回は南米大陸の体験を寄稿させてもらいました。次の機会があれば、さらに他の国々で感じたことを寄稿したいと思います。



真っ白な火山灰大地を下る



太平洋に到着